

作成日 2014年4月1日

改訂日 2016年5月24日(第2版)

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	抗 CA19-9 (NS19-9) モノクローナル抗体
会社名	富士レビオ株式会社
住所	東京都新宿区西新宿 2-1-1
担当部門	お客様コールセンター
電話番号	0120-292-832
FAX 番号	03-6279-0204
製品コード	180693

### 2. 危険有害性の要約

成分(危険有害物質): エタノール

エタノールの GHS 分類結果の中で、発がん性、生殖毒性については飲酒による健康被害に関するデータに基づいている。

一方、本製品に含有するエタノールの濃度は極めて低く、本製品の通常の作業でのエタノールばく露による発がん性、生殖毒性は考慮する必要はないと思われる。

GHS 分類

健康に対する有害性: 発がん性: 区分 1A

生殖毒性: 区分 1A

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

注意書き: 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名： 研究用試薬

成分及び含有量

成分（危険有害物質）：エタノール

化学特性（化学式等）： $C_2H_6O$

分子量： 46.07

CAS No： 64-17-5

濃度又は濃度範囲： 0.5%

官報公示整理番号（化審法・安衛法）：(2) -202

### 4. 応急措置

吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
気分が悪い時は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合： 皮膚を流水、シャワーで洗う。

目に入った場合： 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。  
眼の刺激が続く場合： 医師の診断、手当てを受ける。

飲み込んだ場合： 口をすすぐ。

### 5. 火災時の措置

消火剤： 周辺火災に適した消火剤を用いる。

火災時の特有危険有害性： 消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

特有の消火方法： 危険でなければ火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、適切な保護具を着用し、煙等を吸い込まないように、風上から作業する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

適切な保護具を着用する。関係者以外は近づけない。

環境に対する注意事項：

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

回収、中和ならびに封じ込めおよび浄化の方法：

漏出した液はできるだけ回収し、残りはウエス、ぼろ布等に吸収させて焼却する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 皮膚に触れたり、眼に入ることがないように適切な保護具を着用する。

局所排気・全体換気： 十分な換気ができる場所で取扱う。

注意事項： 使用後は容器を密閉する。

取扱い後はよく手を洗う。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいけません。

ない。

#### 保管

適切な保管条件： 容器を密閉して冷所で施錠して保管する。  
 技術的対策： 特になし。  
 混触禁止物質： 特になし。  
 安全な容器包装材料： 内容物が揮発しない容器を用いる。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 取扱い場所の近くに洗眼器と安全シャワー・手洗い設備を設置する。  
 含有している成分（エタノール）で以下の情報が報告されている。

管理濃度： 設定されていない。

許容濃度：

ACGIH TLV(s)： TLV-STEL 1000ppm

日本産業衛生学会： 設定されていない

#### 保護具

呼吸器の保護具： 適切な呼吸器保護具  
 手の保護具： 適切な保護手袋  
 目の保護具： 適切な保護眼鏡  
 皮膚及び身体の保護具： 保護長靴、長袖作業衣

#### 9. 物理的及び化学的性質

形状：	液体
色：	微黄色透明
臭い：	データ無し
pH：	データ無し
融点／凝固点：	データ無し
沸点、初留点と沸騰範囲：	データ無し
引火点：	データ無し
自然発火温度：	データ無し
燃焼又は爆発範囲：	
（上限）	データ無し
（下限）	データ無し
蒸気圧：	データ無し
蒸気密度：	データ無し
比重：	データ無し
溶解性：	水溶性
オクタノール／水分配係数：	データ無し
分解温度：	データ無し

#### 10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の保管条件/取扱い条件においては安定である。  
 危険有害反応可能性： データ無し  
 避けるべき条件： データ無し  
 混触危険物質： 特になし  
 危険有害な分解生成物： データ無し

### 1 1. 有害性情報

本混合物では確認していないが、含有している成分（エタノール）で以下の情報が報告されている。

急性毒性：

経口                      ラット LD<sub>50</sub>: 6200~13700 mg/kg (PATTY 6th, 2012)

経皮                      ウサギ LDLo: 20000 mg/kg (SIDS, 2005)

吸入（蒸気）              ラット LC<sub>50</sub>: 63000 ppmV (DFGOT vol. 12, 1999)

皮膚腐食性・刺激性：      ウサギ (OECD TG 404) で刺激性なし (SIDS, 2005)

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：

ウサギで角膜混濁、虹彩炎、結膜発赤、結膜浮腫が見られたが、7日以内に回復した (ECETOC TR 48(2), 1998)。

発がん性：                      食道などに悪性腫瘍を誘発することが明らかにされている (IARC, 201)。

生殖毒性：                      新生児に胎児性アルコール症候群の先天性の奇形を生じる (PATTY 6th, 2012)。

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：

眼及び気道の刺激症状、中毒症状を生じる (PATTY 6th, 2012)。

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：

肝臓障害 (DFGOT vol. 12, 1999)、中枢神経系障害 (HDSB Access on June 2013) を生じる。

### 1 2. 環境影響情報

本混合物では確認していないが、含有している成分（エタノール）で以下の情報が報告されている。

水性環境急性有害性： 魚類（ファットヘッドミノー）LC<sub>50</sub> >100 mg/L/96hr (SIDS, 2005)

甲殻類（ネコゼミジンコ）LC<sub>50</sub>=5012 mg/L/48hr (SIDS, 2005)

藻類（クロレラ）EC<sub>50</sub>=1000 mg/L/96hr (SIDS, 2005)

水性環境慢性有害性： 難水溶性ではなく、急性毒性が低いことから長期間の有害性はない

### 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：水で洗い流す。

汚染容器及び包装：空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

### 1 4. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

輸送に際しては直射日光を避け、容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下および損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

### 1 5. 適用法令

労働安全衛生法：

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（法第57条・第57条の2、施行令第18条・第18条の2）政令番号別表第9の61号（エタノール）本製品は表示・

通知対象物質である。  
毒物及び劇物取締法： 該当しない。  
化学物質排出把握管理促進法： 該当しない。

#### 16. その他の情報

##### 主な引用文献

職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/index.html>

記載内容については、現時点で入手できる資料等に基づいて作成したのですが、すべてを網羅しておりませんので、取扱いの際には十分注意してください。